

2018年度 定例総会議事録

表記の総会が2018年5月19日(土)16時20分より東京都立川市統計数理研究所大会議室にて永田会長を議長として開催された。出席26名、委任状より表決権委任した者92名(議長委任73名、会長委任2名、氏名のみ17名)で、出席者合計が、3月31日の正会員数451名の10分の1以上となり、会則第13条(平成29年5月20日総会で改訂後の版)により総会は成立した。

I. 応用統計学会2017年度 事業報告(2017.04.01~2018.03.31)

1. 概況

2017年度は2016年度と同様に、永田靖 会長・栗木哲 副会長をはじめとする15名の理事、および、富澤貞男、瀬尾隆の両監事の体制で活動した。

財務状況は若干赤字であった。

2017年度中の会員の入会、退会状況は、入会者数24名3件(内訳:正会員21名、学生会員3名、機関購読(団体)3件)、退会者数33名3件(内訳:正会員33、学生会員0名、機関購読(団体)3件)であった。また今年度は、長期会費未納計31名を除籍した。

この結果、会員数は2017年度末現在で451名である。内訳は正会員437名、学生会員11名、名誉会員3名である。また、賛助会員6社、機関・団体購読は31件である。

正会員と学生会員を足した会員数の推移は次のとおりであり、会員増への方策の検討が必要である。

	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末
会員数	547名	532名	526名	501名	521名	499名	451名

2. 総会の開催

2017年5月19日に総会を統計数理研究所 大会議室(立川市)で開催した。

3. 評議員会

2016年5月19日に定例評議員会を統計数理研究所 会議室1で開催し、総会に付議する事項等について審議した。

4. 理事会

対面理事会を6回(2017年5月(2回)、9月、11月、2017年2月、3月)、メール審議による理事会を4回、計10回理事会を開催し、学会の運営に関する事項、会員の入退会に関する事項、学会などの後援や協賛に関する事項について審議した。

5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.46のNo.1、No.2およびNo.3を発行した。掲載原稿は9編(巻頭言1、フォーラム2、研究論文2、総合報告4)および名誉会員エッセイ3篇である。総ページ数の推移は次のとおりである。

巻	39	40	41	42	43	44	45	46	平均
総ページ数	100	209	152	195	57	187	122	176	149.8
論文数*	8	5	11	7	10	3	11	8	7.9

*掲載された記事の数(総合報告、研究論文、覚え書き、統計計算、フォーラム)

6. 応用統計学会論文賞の選考

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した（*が受賞対象者）。表彰式および受賞記念講演を9月の連合大会に開催された企画セッション内で実施した。

優秀論文賞：*山田健太郎, *黒木学

潜在反応モデルを利用した交通コンフリクト指標の定式化, 45(1&2), 1--24.

奨励論文賞：*松井秀俊, *三角俊裕, *横溝孝明, 小西貞則

非線形混合効果モデルに基づく関数データクラスタリング, 45(1&2), 25--45.

7. 年会

2018年年会を2018年3月28日に統計数理研究所（立川市）で開催した。

3月29日に本学会主催によるチュートリアルセミナー1件（星野崇宏（慶應義塾大学）と、田栗正隆（横浜市立大学）オーガナイザーによる「適応的デザインとその応用」のテーマで以下の3つの講演,

1：本田淳也（東京大学）「バンディットアルゴリズム（目的変数適応的デザイン）の数理」,

2：平川晃弘（東京大学）「Precision Medicine を目指した適応的デザイン—バスケットデザインの理論と実践—」,

3：星野崇宏（慶應義塾大学）、田栗正隆（横浜市立大学）「適応的デザインと因果効果推定—異質性の理解と個への対応—」

を開催した。参加者は205名（計量生物・応用統計学会会員133名、学生22名、非会員50名）であった。

年会では、一般講演3件、特別講演2件、ポスター発表5件であった。優秀ポスター発表として以下の2名を選出した（*が受賞対象者）。

・*奥井佑（東京大学大学院）、中路重之（弘前大学大学院）

経時的に測定された腸内細菌組成データに対する潜在ディリクレ配分モデル

・*高畑圭祐（慶應義塾大学大学院・理化学研究所）、星野崇宏（慶應義塾大学・理化学研究所）
外部モーメント情報が利用可能な場合における因果推論の識別性について

2018年年会の参加者は43名（正会員（後援学会員を含む）33名、学生（学生会員を含む）5名、非会員5名）であった。参加者数の推移は次のとおりである。

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年	2018年
参加者数	125名	122名	105名	106名	64名	71名	55名	43名

※ 次回の年会は3月開催から5月開催に変更することを検討した。

8. フロンティアセミナーの開催

応用統計学フロンティアセミナー「ビッグデータと応用統計学の相互作用を目指して：医学・位置情報・行動ログのホルダーのニーズを探り研究に活かす」を、2017年5月20日（土）に統計数理研究所（大会議室）で行った。参加者数は100名（会員27名、非会員73名）であった。講演は以下のとおりである。

宮田 裕章（慶應義塾大学医学部）

「ビッグデータ時代における医療データ分析の現状と展望・数理情報科学分野との更なる連携の必要性」

柴山 和久（ソフトバンク株式会社 AI戦略本部、株式会社Agoop）

「位置情報ビッグデータの収集解析とその活用、スーパービッグデータへの移行とその課題について」

萩原 静巖（フューチャーウッズ、リクルートマーケティングパートナーズ）

「学習ログデータを活用したアダプティブラーニングの実践と未来への取り組み」

当日の講演資料の一部を学会ウェブページにて掲載した。

9. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2017年9月3日～6日に南山大学で開催した（共催：応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会）。会場で応用統計学会の広報のブースを設営した。

参加者数は延べ836名（チュートリアル参加者数170名，市民講演会参加者数205名）であった。本学会の企画セッションとして，応用統計学会賞表彰式・受賞者講演会（オーガナイザー：青木敏（神戸大学大学院），井元清哉（東京大学医科学研究所）と，応用統計学シンポジウム「応用統計学と応用分野の量的・質的な変貌～マーケティング・調査・選挙予測・公的統計～」（オーガナイザー：鈴木督久（株式会社日経リサーチ））を行った。

大会参加者総数とチュートリアルセミナー参加者の推移は次のとおりである。

年	度	2012	2013	2014	2015	2016	2017
大	会	824名	979名	1034名	776名	835名	836名
チュートリアル	セミナー	141名	238名	253名	232名	252名	170名

※ 2017年の数字は統計関連学会連合大会のウェブページでの報告

10. 関連学会等との後援・協賛事業

合計8件（後援1件，協賛5件，共催2件）

（参考：2016年度：合計7件（後援2件，協賛4件，共催1件））

今年度以後援・協賛・共催した行事は次のとおり。

- ・慶應義塾大学 データビジネス創造ラボ「第6回データビジネス創造コンテスト」（共催）
- ・第72，73回末踏科学技術協会特別講演会（協賛）
- ・情報処理学会「ソフトウェアジャパン2018」（協賛）
- ・第20回情報論的学習理論ワークショップ（IBIS2017）（協賛）
- ・日本TRIZシンポジウム2017（協賛）
- ・データサイエンティスト協会4thシンポジウム（後援）
- ・科学技術教育フォーラム（日本品質管理学会主催）（共催）

11. 関連学会等への協力と協調

以下の関連学会などに当学会より担当する理事又は特別任務を担当する学会員を指名し，各委員会に出席するなど協調を行った。

(1) 統計関連学会連合

理事会（理事：永田 靖 会長，栗木 哲 副会長，理事長：栗原考次 会員），
事業委員会（川崎 茂 理事，福水健次 会員，橋口博樹 理事），

(2) 統計関連学会連合大会

2017年度大会 プログラム委員会（星野崇宏 理事，南美穂子 理事），運営委員会（佃 康司 会員）

(3) 横断型基幹科学技術研究団体連合

2016-2017年度 理事・代議員（中西寛子 理事）

(4) 統計教育連携ネットワーク

連携学会として参加

(5) リスク研究ネットワーク

機関メンバーとして参加

(6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）

後援を行うと共に，各種委員会運営にも協力

12. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを逐次更新し、学会員への情報公開を円滑にした。また、メーリングリストによる情報公開を行った。

13. 名誉会員

2017年度は名誉会員について公募を行い、鷺尾泰俊氏、渋谷政昭氏、吉村功氏が名誉会員となった。2018年度も名誉会員について公募を行った。

14. 会費滞納者への対応

会費滞納者については、2017年度も連絡を取り通知した。連絡の取れない4年以上の未納会員31名を除籍とした。

その他の事業については応用統計学会のホームページをご覧ください。

Ⅱ. 2017年度会計報告

1. 収入の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,175,000	2,267,500	▲ 92,500
(1) 正会員	1,992,500	2,100,000	▲ 107,500
(2) 学生会員	22,500	47,500	▲ 25,000
(3) 賛助会員	160,000	120,000	40,000
2. 雑誌売上収入	282,000	282,000	0
(1) 購読料収入	282,000	282,000	0
(2) バックナンバー売上	0	0	0
3. 広告料	135,000	165,000	▲ 30,000
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	50,000	300,000	▲ 250,000
5. 年会等関係収入	734,500	508,500	226,000
(1) 年会収入	131,000	189,000	▲ 58,000
(2) チュートリアル収入	603,500	319,500	284,000
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入(著作権料・利息等)	114,345	70,000	44,345
当期収入合計	3,490,845	3,593,000	▲ 102,155
前期繰越金	7,120,269	7,120,269	0
収入合計	10,611,114	10,713,269	▲ 102,155

2. 支出の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	1,988,933	2,025,000	△ 36,067
(1)印刷費	1,435,320	1,465,000	△ 29,680
(2)校正費	200,000	200,000	0
(3)通信・発送費	353,613	360,000	△ 6,387
2. 年会等関係費	195,515	1,142,749	△ 947,234
(1)年会支出	119,966	374,825	△ 254,859
(2)チュートリアル支出	34,590	267,924	△ 233,334
(3)ワークショップ支出	40,959	100,000	△ 59,041
(4)共催国際会議支出	0	0	0
(5)Web作成費	0	400,000	△ 400,000
3. 管理費	1,102,985	1,190,000	△ 87,015
(1)事務委託費	750,000	750,000	0
(2)消耗品費	178,008	120,000	58,008
(3)会議費	26,610	80,000	△ 53,390
(4)雑費	61,200	80,000	△ 18,800
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	0	10,000	△ 10,000
(7)選挙費	87,167	150,000	△ 62,833
4. 役員旅費補助	0	150,000	△ 150,000
5. 関連学会協調事業費	262,650	180,000	82,650
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	0
(2)連合大会	182,650	100,000	82,650
6. 学会賞	91,094	100,000	△ 8,906
当期支出合計	3,641,177	4,787,749	△ 1,146,572
収支差額(次年度繰越金)	6,969,937	5,925,520	1,044,417
支出合計	10,611,114	10,713,269	△ 102,155

2018年度への繰越金の内訳

項目	2017年3月31日現在	2018年3月31日現在
銀行預金	934,390	1,554,842
郵便貯金	839,956	839,964
定額貯金	500,000	500,000
郵便振替	4,832,198	3,996,318
現金	13,725	78,813
合計	7,120,269	6,969,937


会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2017年4月1日より2018年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2018年4月20日

監事

富澤貞男 

瀬尾隆 

Ⅲ. 2018 年度 事業計画(2018.04.01～2019.03.31)

1. 機関紙の発行

「応用統計学」Vol. 47 を発行する.

2. 応用統計学会論文賞等の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞（優秀論文，奨励論文）を授与する. また年会のポスターセッションの中から，優秀ポスター発表賞を授与する. 優秀論文賞と奨励論文賞の各受賞者は統計関連学会連合大会における企画セッションで講演を行う.

3. 年会の開催

2019年3月に開催予定の年会を2019年5月に変更の予定である.

4. 応用統計学フロンティアセミナーの開催

2018年5月19日に統計数理研究所（立川市）において標記セミナーを，統計数理研究所の後援で開催する. テーマは「データサイエンスによる「ものづくり」の革新」とし，下記3氏の講演を行う.

椿 広計（独立行政法人統計センター）

「データサイエンス時代の品と質のマネジメント」

吉田 亮（統計数理研究所）

「マテリアルズインフォマティクスの最前線」

吉野 睦（株式会社デンソー）

「ものづくりにおけるビッグデータの活用 ～異常検知と自律適応制御～」

5. 統計関連学会連合大会での企画セッション

2018年度統計関連学会連合大会（応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が共催）が2018年9月9日～13日に中央大学後楽園キャンパスで開催される. 企画セッションとして当学会は，

- ・応用統計学会シンポジウム「統計的因果推論—基本的なアイデアから最近の発展まで—」

（オーガナイザー：黒木学（横浜国立大学））

- ・応用統計学会 学会賞授賞式および学会賞受賞者講演

（オーガナイザー：井元清哉（東京大学医科学研究所），

青木 敏（神戸大学大学院）

を企画運営する.

6. 研究集会

必要に応じてその他の研究集会を開催・支援する.

7. 学会員への情報公開

ウェブページやメーリングリストを活用して，学会員への情報公開を有効かつ円滑に行う. 賛助会員の一覧をウェブページに作成する.

8. 広報活動

会員の募集のための広報活動を，連合大会（ブースの設置）や適切な媒体を使って行う.

9. 関係学会等との協調

以下の団体への加盟を継続し協力すると共に，その他関係学会との協調を促進する.

- (1) 統計関連学会連合
- (2) 日本計量生物学会
- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）
- (4) 統計教育連携ネットワーク

- (5) リスク研究ネットワーク
- (6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）
- (7) データサイエンティスト協会

10. 名誉会員

名誉会員の公募と選考を行う。

11. 理事会，評議員会，総会の開催

5月19日（フロンティアセミナー開催日）の午前中に，評議員会を開催し，フロンティアセミナー開催後に総会を開催する。総会時に名誉会員に対する審議を行う。

また，5月の総会后，9月の連合大会開催時，および適宜，理事会を開催する予定である。またメールによる理事会は必要に応じて開催する。

IV. 2018年度予算

1. 収入の部

勘定科目	2017年度予算	2017年度実績	2018年度予算
1. 会費収入	2,267,500	2,175,000	2,027,500
(1) 正会員	2,100,000	1,987,500	1,875,000
(2) 名誉会員		5,000	7,500
(3) 学生会員	47,500	22,500	25,000
(4) 賛助会員	120,000	160,000	120,000
2. 雑誌売上収入	282,000	282,000	246,000
3. 広告料	165,000	135,000	90,000
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	300,000	50,000	130,000
5. 年会等関係収入	508,500	734,500	0
(1) 年会収入	189,000	131,000	0
(2) チュートリアル収入	319,500	603,500	0
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入(著作権料・利息等)	70,000	114,345	120,000
当期収入合計	3,593,000	3,490,845	2,613,500
前期繰越金	7,120,269	7,120,269	6,969,937
収入合計	10,713,269	10,611,114	9,583,437

- ・1. 会費収入 …… 個人会員の会費納入率を(2017年度実績に基づき)85%として
 正会員 …… 375名(442名×0.85)×5,000円=1,875,000円
 名誉会員 …… 3名×2,500円=7,500円
 学生会員 …… 10名(12名×0.85)×2,500円=25,000円
 賛助会員 …… 6件×20,000円=120,000円
- ・2. 雑誌売上収入 …… Vol.47の41部(32件)×6,000円=246,000円
- ・3. 広告料 …… Vol.47, No.1, No.2, No.3を発行予定として90,000円で算出
- ・4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入 …… 過去3年間の平均に基づき130,000円で算出
- ・5. 年会等関係収入 …… 年会開催時期以降(3月→5月)のため, 2018年度は開催なし
- ・6. 雑収入 …… 過去3年間の平均に基づき120,000円で算出

2. 支出の部

勘定科目	2017年度予算	2017年度実績	2018年度予算
1. 機関誌関係費	2,025,000	1,988,933	1,550,000
(1)印刷費	1,465,000	1,435,320	1,100,000
(2)校正費	200,000	200,000	150,000
(3)通信・発送費	360,000	353,613	300,000
2. 年会等関係費	1,142,749	195,515	800,000
(1)年会支出	374,825	119,966	200,000
(2)チュートリアル支出	267,924	34,590	460,000
(3)ワークショップ支出	100,000	40,959	40,000
(4)共催国際会議支出	0	0	0
(5)広報費	400,000	0	100,000
3. 管理費	1,190,000	1,102,985	990,000
(1)事務委託費	750,000	750,000	750,000
(2)消耗品費	120,000	178,008	50,000
(3)会議費	80,000	26,610	80,000
(4)雑費	80,000	61,200	80,000
(5)事務合理化費	10,000	0	10,000
(6)選挙費	150,000	87,167	20,000
4. 役員旅費補助	150,000	0	50,000
5. 関連学会協調事業費	180,000	262,650	120,000
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	70,000
(2)連合大会	100,000	182,650	50,000
6. 学会賞	100,000	91,094	100,000
小計	4,787,749	3,641,177	3,610,000
7. 予備費	5,925,520	6,969,937	5,973,437
当期支出合計	10,713,269	10,611,114	9,583,437

- ・1. 機関紙関係費 …… 2017年度(4号分の支出)と同様に, 3号分(Vol.47, No.1, No.2, No.3)として印刷費 …… 印刷費(1号につき35万円)と電子ジャーナル作成料(論文1件あたり7,500円)
校正費 …… 5万円×3号分=150,000円
通信・発送費 …… 2017年度実績から1号分の見積もり額(5万円)を差し引いて算出
- ・2. 年会等関係費 …… 2018年3月年会の費用と2018年5月のフロンティアセミナーの支出に
広報費を加えて算出
- ・3. 管理費 …… 2018年度は選挙がないことを考慮して例年通りの見積もり額を算出
- ・4. 役員旅費補助 …… 過去の実績(常に5万円未満)を踏まえて算出
- ・5. 関連学会協調事業費 …… 横断型基幹科学技術研究団体連合年会費5万円,
統計関連学会連合年会費2万円と, 連合大会の特別セッションの予算5万円で算出
- ・6. 学会賞 …… 優秀論文賞(3万)、奨励論文賞(1万), 名誉会員証書フォルダ, 賞状作成等

V. 学会賞の選考

第1次選考, 第2次選考の結果, 以下の論文が選出された。

優秀論文賞: 佃 康司

「ノイズ共変量に対するロバスト設計法 — 機能性の測度を用いた方策 —」Vol. 46, No. 1, 1-11.

奨励論文賞: *大久保 豪人, 永田 靖 (*:受賞対象)

「グラフィカル・モデリングに基づくマハラノビス・タグチ法」Vol. 46, No. 1, 13-26.

VI. 名誉会員

公募を行って推薦された下記3名に対し審議の結果, 名誉会員として承認された。

清水 良一 氏, 廣津 千尋 氏, 柳川 堯 氏

VII. 会長・副会長・評議員選挙結果報告

2018-2019年度の会長・副会長選挙, および評議員の選挙(投票締め切り2018年3月23日)が行われ, 2018年4月4日に2名の監事立ち会いの下で開票が行われた。永田会長よりその結果が以下の通り報告された。

- ・会長 岩崎 学
- ・副会長 中西 寛子
- ・評議員選挙結果 (26名)

水田 正弘 (北日本・北関東), 折笠 秀樹 (北日本・北関東),
田畑 耕治 (南関東), 富澤 貞男 (南関東), 青木 敏 (東海近畿),
山本 紘司 (東海近畿), 西井 龍映 (西日本), 二宮 嘉行 (西日本),
會田 雅人, 安宅 和人, 井元 清哉, 鎌倉 稔成, 川崎 茂, 栗木 哲,
黒木 学, 瀬尾 隆, 椿 広計, 永田 靖, 野間 久史, 樋口 知之,
星野 崇宏, 松浦 峻, 南 美穂子, 宿久 洋, 山本 渉, 渡辺美智子

VIII. 新理事・監事の選出

2018-2019年度の理事及び監事を以下の通り承認した。

- ・会長 岩崎 学
- ・副会長 中西寛子
- ・理事 (15名)
 - 庶務(会議・文書・総会)理事 松浦 正明
 - 庶務(情報・広報)理事 橋口 博樹
 - 庶務(組織管理)理事 黒木 学
 - 会計理事 松浦 峻
 - 編集理事 青木 敏
 - 編集理事 姫野 哲人
 - 企画理事 元山 斉
 - 企画理事 二宮 嘉行
 - 無任所 永田 靖, 椿 広計, 田栗 正章, 星野 伸明, 松田 安昌
- ・監事 (2名) 鎌倉 稔成, 栗木 哲